

小さなことに心をこめて

理事長 島 しづ子

クリスマスおめでとうございます！今年は大変な年でした。災害によって悲しみやご苦労の中にある皆さまに衷心よりお見舞い申し上げます。

友人であり、愛実の会の最初からの支援者であった渡部實さんが天に還っていきました。彼は障がい者の施設に勤めていました。そこは一人ひとりの賜物を生かした仕事や生活の場を考える先駆的な施設でした。そこで熱心に仲間の人と向き合い、仕事を開拓しながら、渡部さんが考えたのは「自立と言いながら、結局は自分のやり方を押し付けているのではないか」ということでした。なぜなら本人のためだと思ってしても、本人は心から喜んでいる笑顔ではない。渡部さんは施設を辞めてパートナーの幸子さんと息子の重実さんと仲間の百鳥さんと「ちいむれ牧場」を始めました。そこで小さな動物や鶏を飼い、聖句の刻まれたお煎餅を焼き、石焼パンを焼きました。彼の残した本の中に「山羊のフランチーズ」（フランスのチーズという由来）の話があります。重実さんがフランスで実習した時に、山羊の乳からチーズを作っているのを見て、ちいむれ牧場でもチーズを作ろうと考えて山羊が飼われました。しかしフランチーズは種つけをしなかったので、お産もしない、乳も出ない役に立たない山羊でした。この山羊が病気で死臭も漂うようになった時、渡部さんは貧しいちいむれ牧場の全財産（2万円）を叩いて医者に見てもらいました。何て愚かなことをと思った人もいたことでしょうか。イースターの朝に奇跡的に助かったフランチーズは、その後ある役目を果たしました。ちいむれ牧場に来る子どもたちはよく山羊や兎、鶏、あひるに触れて遊んだようです。そういう一人に引っ込み思案な少年がいました。彼は自宅に帰って「ヤギにさわった、ヤギにさわった、ヤギにさわられた、ヤギにさわられた」と喜んで報告し、やがて家に閉じこもるのをやめて学校に行き始めたのでした。少年に一步踏み出す勇気を与えたのは、フランチーズだったというのです。この他にも人の目には役に立たないけれど、その弱さを通して人々を慰め、傷ついた人を助けた動物の話が書かれています。私もいつも不思議に思うことがあります。それは人を心の奥深いところで助け、慰めるのは強い人ではなくて、弱い存在である、ということです。

渡部さんたちは名古屋の私たちのことも覚えて祈ってくださり、お祝い事があると石焼パンを送って下さいました。いつも丁寧なお手紙を添えて。マザーテレサの言葉に、「たいせつなのは、どれだけたくさんのかををしたかではなく、どれだけ心をこめたかです。」があります。渡部さんの生き方はあたたかさと共に、私に反省を促します。彼に接した人はみな自分が一番愛されたと思ったのではないのでしょうか。私もその一人です。あれだけ誠実に接して下さったお心に、自分はどれだけ応えたらうかと後悔があります。マザーテレサがこうも言っています。「あなたに出会った人がみな、最高の気分になれるように、親切と慈しみを込めて人に接しなさい。あなたの愛が表情や眼差し、微笑み、言葉にあらわれるようにするのです。」新しい年も神様の祝福が皆さまの上にありますように。

◆ 朝礼スタート！ ◆

10月より愛実の会ではアシスタントによる朝の朝礼を開始しました。

なかなか同じ職場で働いていても、部署が違くと声を掛け合う事が少なかったり、今日ほどのアシスタントが働いているか知らないまま、それぞれの業務が始まるとい傾向がありました。

そこで、アシスタントのコミュニケーションを図る一環として、定例会で提案された朝礼を実施することとなりました。朝きちんと顔と顔を合わせて挨拶をし、連絡事項や各部署の動き等を聞くことで、活動場所は違っていても、同じ情報を共有することができるようになりました。

朝9時から送迎が開始されるため、わずかな時間ではありますが、みんな共に働く仲間として協力し合える為にも、今後も継続して行っていききたいと思います。



◆ 歯科検診実施 ◆

9月8日に名古屋市港区歯科医師会の方々による、訪問歯科検診を実施いたしました。この歯科検診は、障がい者デイセンター愛実のある、港区の障害者自立支援協議会より、歯科医師や歯科衛生士の派遣をいただき、とり行うことができました。

当日は衛生指導に音楽療法を取り入れていただき、大きな口をあけて歌を歌ったりして、メンバーの多くも楽しく参加することができました。

また、本番の検診では口の中を触られるのが苦手なメンバーもいて、いつもの口腔ケアとは違い、頑なに拒否をするメンバーもいましたが、しっかりと口の中をチェックしてもらうことができました。

メンバーの中には、障がいが重度であるが故に、数年歯科受診をしていない人もいました。慣れた場所で診ていただけるこの検診は、メンバーにとってとてもありがたいものでした。

またアシスタントにとっても、普段何気なしに行っている口腔ケアを見直す良い機会となり、スムーズに口腔ケアができないメンバーに対しての対処法を教えていただけるなど、とても有意義なものになりました。

港区歯科医師会の方や港区障害者自立支援協議会の皆さんのおかげで検診を行うことができ、とても感謝しています。



愛実友だちの家のページ

(P3~4)

今年は、夏の初めの天気が不安定でしたが、冬らしくなるのもゆっくりペースで、毎日天気予報とにらめっこしながら、着ていく服に迷っています。半袖でも大丈夫なくらいの霜月を過ぎ、ようやく長袖が似合う師走になりました。

木々の色の移ろいや、空気の匂いではなかなか四季を感じにくかった2011年ですが、暖かかった分、愛実友だちの家ではたくさんお散歩をしたり、季節の行事を楽しんで、秋から冬にかけてのいろいろなことを楽しんで過ごしました。

今回は、季節の行事としてハロウィンパーティ、紅葉狩り、ボストン美術館探訪、日々の活動として記憶でスケッチ、エコペーパー作り、贈り物作りをご紹介したいと思います。

ハロウィンパーティ

もともとはケルト民族の収穫祭だったと言われるハロウィン。ここ数年は日本でもクリスマスに次ぐイベントとして、飾りつけや仮装を楽しむ人が増えてきました。愛実友だちの家でも季節の行事の一つとしてハロウィンパーティを毎年楽しんでいますが、年々、部屋の飾りつけや当日の仮装が大胆になってきたように思います。

今年はまず、風船に新聞紙や半紙を貼り付けた張り子に色づけをしたハロウィンオバケを部屋にぶら下げ、100円ショップで買い集めたクラフトでさらに室内をデコレーション。

パーティ当日は大地の家、紙風船のメンバーをお招きして、手作りゲームのキャンディフィッシング（キャンディを釣り上げて、包み紙の中にあるキャンディに見立てた紙玉の色で金・銀・銅賞が決まる）や、仮装したメンバーと写真撮影ができるコスプレフォトコーナーで楽しみました。

あみともメンバーが一番ノリノリだと思っていたのですが、フタを開けてみると大地メンバーも紙風船メンバーもばっちり仮装して来てくれてノリノリ♪笑顔いっぱいの素敵な時間を一緒に過ごすことができました。



ボストン美術館探訪

秋といえば芸術の秋、ということで、名古屋市中区の金山総合駅にあるボストン美術館に行ってきました。メンバーの多くは、自分で描くことが難しいのですが、アシスタントの手を使って、気持ち伝えて絵を書いたり、モノを創ることが大好き。色使いにもけっこううるさくて、微妙な色合いを時間をかけてアシスタントに伝えてなんとかメンバーの想いをカタチにしています。

そんなメンバー達なので、美術館探訪は思った以上に良い刺激になったようで、おなじみのセザンヌやマネの静物画を始め、アメリカのポップで写実的な絵やティファニーの陶磁器などに溜息をもらしながらインスピレーションを感じていたようです。



紅葉狩り

愛実友だちの家で外出の計画を立てると、なぜだか当日悪天候に見舞われることが多く、紅葉狩りの計画を立てたものの、前日に雨が降ったり、急に冷え込んできたり、一体どんな一日になるかとひやひやしなから出掛けたのが11月の22日、行き先は東山動植物園。

メンバーの足となって歩くアシスタントはともかく、車椅子に乗って移動のメンバーはかなり寒いんじゃないかという心配は、運良く杞憂に終わりそうな爽やかな秋晴れに恵まれ、張り切って出発。

今年は冷え込みが少ない分、紅葉の色づきにはあまり期待しなかったのですが、葉が色づくには日照時間の短さも関係しているようで、見事に紅く染まったカエデもありました。

愛実の会のメンバーにとってはお決まりの合掌造りの家を通り、日本庭園の紅葉を眺めたら、いざ昼食。陽射しが暖かく、日だまりでの昼食がメンバーにとっても気持ち良さそうでした。



東山動植物園に出掛けてから1週間ほど経ったある日、まだ紅葉を覗いていないというメンバーの声から、ふらり思い立って白鳥公園へ。

こちらは主に、銀杏、桜並木を楽しみましたが、塀の上からちらりと見える白鳥庭園のカエデもやはり見事なものでした。

日々の活動

日々の活動として最近取り入れられたのが「記憶でスケッチ」。有名なキャラクターをお題としてもらい、メンバーとアシスタントの記憶だけで、ああでもないこうでもない相談しながらそのキャラクターを描き上げていくというものです。

「Q太郎ってどんなだったかねえ？」なんて相談しても知らん顔なのに、苦労して描いて「こうだったかねえ？」と見せると「違うよ～」と泣き出したり怒り出したりするメンバーも。記憶力、画力、コミュニケーション能力が問われる活動で頭を使います。

この季節ならではの活動としてはエコペーパーを使ってのクリスマスカード作り。

毎年、クリスマス会の時にお家の方やいつもお世話になっているボランティアの方達に手作りの贈り物をするのですが、それに添えるカードも作ります。あみともメンバーにとっては1年ぶりの牛乳パックを使ったエコペーパー作り。最初はうまくいかなくても、だんだん思い出して色々なアイデアが飛び出します。どんな仕上がりになるかは楽しみ。

3枚目の写真は今年の贈り物です。まだ何かは秘密ですが、メンバーと色や感触、香りを楽しみながら心を込めて作っています。皆さんも素敵なクリスマスをお過ごしください。



記憶でスケッチのできが不満なYさん



エコペーパー作りをがんばるKさん



贈り物を作るTさん



大地の家のページ

(P5~6)

京都遠足

メンバーもアシスタントも毎年心待ちにしている遠足。今年の行き先は……なんと京都！そして、移動もリフト車ではなく、新幹線と在来線を乗り継いでいくという初めての挑戦となりました。

実は以前行ったリニア鉄道館の展示車両でも乗車の練習をしていた大地メンバー。その際の乗車口は狭く、車椅子のままでは乗ることができないメンバーもちらほら。おまけに今回は停車中の約1分間に全員が乗りこまなければいけないということで、お出かけ慣れしている大地アシスタントにも緊張感が漂います。一緒に参加して下さったメンバーの親御さんにもご協力いただき、あらかじめ役割や荷物を分担して準備万端。

そしていよいよホームに新幹線が到着。心配していた乗車口も車椅子対応ということで広めになっていて一安心。JR職員の方々のサポートもあり、無事乗りこむことができました。いざ京都へと向かいます♪名古屋から京都までは約40分程。降車準備等もあったため、あっという間に感じました。京都駅からは在来線に乗り換え、まず最初に目指すのは清水寺です。



電車を降りたメンバー&アシスタントを待ち受けていたのは、長~い上り坂。最初はゆるかった傾斜も、清水寺に近づくにつれてどんどん急になっていきます。また、古くからの道のために道幅も狭く、修学旅行の学生さんや観光客でにぎわう中をかきわけかきわけ進んでいきました。車椅子を押しているアシスタントたちは疲れから次第に言葉少なに…。休憩をはさんだり、途中で交替したりしながらやっと清水寺に到着しました。清水寺の内部にはスロープがあり、車椅子でも安心…かと思いきや、“清水の舞台”にだけはスロープがありませんでした(;_;) 苦勞して来ただけにあきらめられるはずもなく、アシスタントが2~3人がかりで車椅子を持ちあげて舞台の縁まで移動しました。ようやく全員が移動を終え、顔を上げるとそこには絶景が広がっていました。眼下に広がる京都の町並みと自然に、メンバーもアシスタントも感動。じーっと景色を眺めるメンバーもいれば、高い所で落ち着かないのかきょろきょろと辺りを見回すメンバーもいて、まさに十人十色の反応を見せてくれていました。車椅子を押して坂道を歩くのはとても大変でしたが、綺麗な風景とメンバーの笑顔を見ていると疲れも吹き飛び、達成感で清々しい気持ちになりました。



清水寺を満喫したあとは、ご家族へのお土産などを買いながらレストランへと向かいました。到着したのは「ここがイタリアンレストラン？」というくらい、昔ながらの日本家屋の雰囲気を残した情緒ある建物。入口の前ではスタッフの方がお出迎えしてくださっていて、少し緊張しながらレストラン内へ。肉、魚、パスタなど、各種のコースランチの中から好きなメニューを選んで注文しました。普段なかなか食べられない贅沢な食事に、メンバーもアシスタントも舌鼓。いつも外出ではあまり食事を取れないメンバーも、満面の笑みでペロリと完

食し、周囲を驚かせていました。格式高そうなレストランでしたが、半個室状態のスペースを用意してくださっていて、ゆっくりと食事をすることができました。また、レストランスタッフの方々も車椅子の上げ下ろしや食事の形態にも配慮してくださり、とても助かりました。



ゆっくり食事を摂ってリラックスしたあとは八坂神社へ。神社へと向かう道すがら、石畳があったり、舞妓さんの恰好をした女性に遭遇したりと、歩くだけでも「京都らしさ」を感じ、新鮮な気持ちになりました。神社では、短い時間でしたがお参りをしたり、境内を見て回ったりと、メンバーそれぞれが思い思いに過ごしました。

そして楽しかった遠足にも終わりの時間が近付き……またまた電車を乗り継いで、京都から名古屋へと帰ります。帰りの車中では、少し疲れたのか眠たげなメンバーもいれば、「まだ帰りたくない〜！」と泣き顔のメンバーも。初めて続きの遠足でしたが、大きなトラブルもなく、無事名古屋駅に帰って来ることができました。

今回の遠足では、まだまだ街にはメンバーにとっての「バリア」がたくさんあるのだから、と感じる一方、手を貸してくださる方の優しさにも触れ、とても暖かい気持ちになりました。私たちはたくさんの人々に支えられているのだということ、改めて実感した一日でした。



梅干し作り

前回の会報で、土用干しまでの様子をお伝えした大地の家の手作り梅干し。その後はというと、干す作業も無事終わり、ゆっくり寝かせているところなのですが……。

暑さで傷むことを恐れ、冷蔵庫で保存していたせいなのか熟成が進んでおらず、いまいち塩がこなれていない様子。大地の家を代表して試食したアシスタントも、予想と違う味にガックリ。現在は冷蔵庫から取り出し、美味しい梅干しになるようラストスパートをかけています。ちょうどこの会報が発送される頃に実食する予定の手作り梅干し。約半年間のこの活動が良い結果を迎えられるように、メンバーもアシスタントも祈るばかりです。



日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

紙風船のページ

(P7~10)

紙風船では、公演をはじめとして、その他にもレクリエーションにスポーツ大会、そして大阪旅行にふれあいまつりとイベント盛りだくさんでした。そんな紙風船の様子をご紹介します。ていきたいと思います。

スポーツ大会



スポーツの秋という事もあり、9月はスポーツ大会を開催。障がい物競走とポッチャに挑戦しました。障がい物競走のパン食いでは想像以上にみんなの迫力にビックリ！口を大きく開けながらねらいのパンめがけてかぶりついていました。午後にはポッチャという競技を行いました。ポッチャとは、まとをめがけてボールを転がし、相手チームと得点を競うゲームです。横になりながら参加のメンバーもいましたが、雨どいをスロープ代わりにうまく活用して、ボールを転がしみんなで盛り上がることができました。これまた意外と冷静に、まとを命中させるメンバーたちに驚きでした。



ふれあいまつり開催

紙風船では、地域の方に紙風船の活動の事を知ってもらいたいという気持ちから、ふれあい祭りを開催しました。

輪投げ、じゃんけん勝ち抜きゲーム、缶バッチ作りの体験、紙風船紹介コーナーや手芸品をメインとしたミニバザー等を行いました。当日は大雨という事もありましたが、チラシを見てきてくださった方や通りがかった子どもたち、またいつもお世話になっている給食パートの方、大地の家のメンバーさんなどたくさんの方がきてくださり、部屋の中は大賑わいでした。

準備が遅かったこともあり、どれくらいの方が来て下さるのか不安もありましたが、メンバー、アシスタントとも安心でした。

子どもたちの中には、ゲームを楽しむ一方、人形を実際に見て喜んでくれる子もいて嬉しかったです。

1人でも人形劇団紙風船を覚えて帰ってくれていたらと思います。



大阪旅行に行ってきました！USJ & 吉本新喜劇

待ちに待った大阪旅行！

紙風船では11月5日、6日と一泊二日の旅行に出かけてきました！

旅行二日くらい前から、天気予報は曇りのち雨に…前日からみんなで、てるてる坊主を飾って祈りました。当日の朝は何とか曇り空、雨の不安を抱えながら、名古屋駅に集合し、近鉄アーバンライナーにのって大阪難波までしばらく電車の旅を楽しみました。近鉄は以外と揺れがはげしく、通路も狭かったため、ちょっと大変でしたが、久しぶりにゆっくり電車に乗って喜ぶメンバーの姿もありました。在来線を使い継いで、ようやくユニバーサル・スタジオについた頃には、あの心配していた雨が祈りもむなしく、降り出してしまいました。しかしそんな事にはめげず、用意していた雨ガッパを身につけいざ出発！



アトラクションをみんなでいくつかみた後は、グループにわかれて思い思いに過ごしました。お土産をみてまわったり、ショーを見たり、乗り物に乗ったり、美味しいディナーを食べるメンバーもいたり。

残念ながら夜のパレードは雨で中止になってしまいましたが、みんな楽しみにしていたUSJを満喫する事ができた様です。一日遊んでも時間がたらないくらいあっというまの一日でした。

二日目は、京橋花月にて生の吉本新喜劇をみてきました。

会場は満席で、私たちは舞台からとても近い席で観劇することができました。

幕がひらいたとたん、会場が笑いの渦に。メンバーの大きな笑い声が後ろから響いてきたりと、気づけばアシスタントもメンバーも大爆笑。

いつもテレビの画面で見ている芸を生で見ることもできて、みんな大満足でした。

私たちが訪れた京橋花月は11月末で閉館ということでしたので、今回行く事ができてよい記念にもなりました！今度はぜひ本場吉本「なんばグランド花月」にも行ってみたいな～☆

こうしてあっというまの二日間、メンバーとの宿泊旅行が初めてのアシスタントやボランティアさんもいましたが、みんなで協力しあい、楽しい思い出を作ることができました。

普段とは違う、メンバーの笑顔や様子を見て、旅行にいけない良かったなと改めて感じました。



メンバーからの一言

今年は、たくさん公演ができました。来年もどんどん公演を頑張ってやっていきたいです。
今利優

<メンバーの思い>

「終わりなき旅」

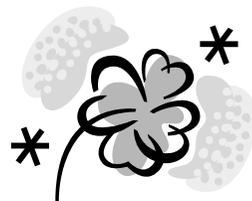
山下 純

Mr. Children の「終わりなき旅」
疲れた時、いやなことがあった時、よく聴いている。
この歌をきくと、「やってやるぞ!」という気持ちにいつもなれる。

難しく考え出すと 結局すべてが嫌になって
そっとそっと逃げ出したくなるけど
高ければ高い壁の方が 登った時 気持ちいいもんな
まだ限界だなんて 認めちゃいないさ (2番歌詞より)

未来は自分から向かっていかなくとも勝手に向かってくる。
だからこの一瞬を大切にしていきたいと思う。

いいことばかりじゃないけど、いやなことばかりでもない……。



<協力者の思い>

「笑顔溢れる紙風船」

木村華子

紙風船にお世話になって、1年とちょっとが過ぎました。この1年で、学校でも病院でも経験出来ないような事を、人形劇・日々のデイを通して沢山経験させていただきました。始めは、戸惑う事も多かったのですが、そんな私を笑顔で受け入れて下さった皆さん。そんな優しい笑顔が溢れている、紙風船が大好きです。また、ご迷惑をおかけする事も多々ありましたが、逆に支え遣って下さった皆さん。そんな皆さんの優しさに救われ、感謝の気持ちで一杯です。私事で、12月で退職してしましますが、これからも皆さんのご活躍を願っています。ありがとうございました。

【公演だより】

第131回 2011年10月9日(日) ひまわりホールパペットフェスティバル 「ポンタとたっくん」



中区ひまわりホールで開催されたパペットフェスティバルに久しぶりに参加させていただきました。

今回は「ポンタとたっくん」の久しぶりの公演という事もあり、とても緊張もしましたが、プロの方からの論評もあり、自分たちでは気がつかなかった視点からのご意見をいただきとても勉強になりました。

第132回 2011年11月17日(木) シルバーホームまきば 「かめさんのありがとう」

愛知牧場の裏手にある老人ホームへ公演に行きました。

そこで生活している方々が、たくさん見に来てくださいました。

会場が小さかった為、お客さんとの距離がとても近く、少し緊張もしましたが、人形劇が終わったと同時にたくさんの拍手をいただき嬉しかったです。

第133回 2011年12月4日(日) 南山教会 「ポンタとたっくん」

愛知牧場に隣接する教会へお世話になりました。

今回は、今まで反応のなかった場面でお客さんの笑い声が聞こえてきたりと、会場の皆さんと一緒に人形劇を楽しんで下さっている事がひしひしと伝わってきました。

またお客さんのお見送りでは、とても暖かいお言葉をたくさんいただき、メンバー、アシスタントみな感激しました。

お客さんと交流できた事が、次の人形劇への励みにもなります。ありがとうございます。



第134回 2011年12月8日(木) 美浜町立野間小学校にて 「ぼくたちにできること」



知多半島の自然豊かな環境の中にある小学校へ公演に行ってきました。福祉講話会として紙風船は全校168名の生徒さんの前で公演を行いました。みんなとても真剣に観てくれ、突撃インタビューでは勇気をもって感想を言ってくれました。希望や勇気という私たちの伝えたい思いが少しは伝わったような気がしてとても嬉しかったです。

1月～3月までの公演予定

- 2月 4日(土) 南区ボランティア連絡協議会「ふれあい広場事業」
南区役所庁舎 5F 入場無料 「カメさんのありがとう」
- 3月 4日(日) 人形劇セラピー企画 ひまわりホールにて 詳細未定

詳しくはホームページをご覧ください ☺

わ き あ い あ い

和気藹藹

南 寿 樹

「人はどんな時に笑うと思いますか」という問いに、私は（おもしろい漫才を見たとき）と心で答えながら、頭には石黒寛さんとながたひとしさん（ひと組の役者）の顔が浮かんだ。

教育講演会では珍しい落語家の笑福亭松枝（しょうし）さんを講師に迎えての公演中のことだ。

彼は、人間観察の鋭い落語家ならではの切り口で「人間とは」という本質に迫っていく。

人はどんな時に笑うか——学者に言わせれば次の4点だと言われていると紹介された。

- ① 生理的な本能が満ち足りたとき「おいしいものを食べるとき人は自然に笑顔になる」
- ② 努力が報われたとき「入学試験に合格した時に笑う」
- ③ 疑問が解けたとき「コナンは謎を解いたときに笑う」
- ④ 優越感を抱いたとき「お笑いは自虐ネタが多いが、聞けば多くの人は優越感で笑う」

私の胸を打ったのが「この4つに共通して必要なものが安心感」という指摘。つまり人間は安心感や、気持ちのゆとりがないと笑えないということだ。（これまで深く考えてこなかった）

松枝さんは、「いない いない ばー」という赤ちゃんへのあやしを例にとり、（きつと次はバーと顔が現れる）という見通しとそれを裏切らないあやしは一つの「ルール」、その「ルール」があるところには安心感があり笑いは生まれると話を進めた。次にホワイトボードに大きな字で「和気藹藹」と書き、日本の素敵文化として紹介した。昔は大家族で3世代が同居するのは当たり前で村社会で集まりも多い。そんなとき、大人たちが酒を酌み交わし笑い合っている姿を見て、子どもたちは安心して遊びまわる——この雰囲気は和気藹藹。

松枝さんは「ドロシー・ローノルトの詩（アメリカンインディアンへの教え）」を紹介してくれた。

子どもたちはこうして生き方を学びます（Children Learn What They Live）

批判ばかりを受けて育った子は 非難ばかりします

敵意に満ちた中で育った子は だれとでも戦います

ひやかしを受けて育った子は はにかみ屋になります

ねたみを受けて育った子は いつも悪いことをしているような気持ちになります

心が寛大な人の中で育った子は 我慢強くなります

励ましを受けて育った子は 自信を持ちます

褒められる中で育った子は いつも感謝することを知ります

公明正大な中で育った子は 正義心を持ちます

思いやりのある中で育った子は 信仰心をもちます

人に認められる中で育った子は 自分を大切にします

仲間の愛の中で育った子は 世界に愛を見つけます

——安心感があふれる空間。これが子どもたちの人格形成に大きな影響を及ぼすと言う。

とにかく、大人集団の和気藹藹とした環境そして安心感のある社会を創っていきたい。

2011年度 第2回、3回 定例会報告

今年度定例会では、愛実の会の理念を振り返り、今後の取り組む課題として、「地域とのつながり」「コミュニケーションの重視」という理念に掲げられた内の二つの目標に着目して、何ができるのかを話し合ってきました。

第2回～3回の定例会では、特にコミュニケーションの重視（信頼関係）を作っていくための具体的な方法やイベントの取り組みなど多くの意見が出され、現在下記の通り進められています。

★ NPO法人愛実の会発足（2007年）から、2012年1月で5周年を迎えます。それに伴い、5周年の記念イベントの開催を決定。 時期は来期5月以降。

話し合われた内容

- ・定例会（愛実の会正会員）が中心となり、記念イベント実行委員会を立ち上げる。
- ・今までの歩みを振り返り、愛実の会の原点を見つめ直して行くことが大切。
- ・愛実の会の将来について、希望や不安を語り合っていく場を作っていこう。
- ・定例会が愛実の会の将来について、主体的に考えて行く存在になろう。
- ・イベントを通して、みんな楽しく目標を共有化していこう。
- ・メンバーやアシスタント、ご家族の方々みんなが集まれる会にしていこう。
- ・アクションを起こし、記憶に残る会にしていきたい。
- ・愛実の会を訪問することが楽しいと思えるような場を作っていきたい。

その他、いろいろな意見が出されましたが、定例会も新たに一人ひとりが正会員（愛実の会のサポーター）としての意識・会の在り方（役割）が見えてきたように思います。 課題は多くありますが、ますます愛実の会がみんなの願いによって大きく成長していけることを心から願います。



NPO愛実の会 寄付者名（順不同・敬称略） 2011年9月5日～11月30日

- ★ 賛助会費
小栗和子 貝沼眞理 風間文子 阿部健二 佐田秀子 山内正美 細川美代子
- ★ 紙風船
松本陵子 一篠敬子 佐田秀子 山内正美 中森照子（複数回） 森永富貴子
佐藤仙務 太田恵子 中森由哉（複数回） 細川美代子
- ★ 寄付・その他
坂下教会 大淵哲也 見木靖美 有村典子 中森照子（複数回） 細川美代子
佐田秀子 田瀬教会 木村睦子 平井克也 中森由哉（複数回） 信濃村教会
島しづ子 風間文子 野村裕子 桐村 剛 イエローシート（複数回）
在日大韓基督教会名古屋教会女性会
- ★ 土地・建物
佐田秀子 岸野奈奈子 細川美代子
- ★ 物品寄付
鈴木恭子 塚田高子 宮嶋映子 田尾ますよ 伊藤あつ子 大淵真喜子
水谷恵子 桐村 剛 セカンドハーベスト名古屋

任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分（順不同・敬称略）

2011年3月11日、私たちの情眼を根底から揺り動かした出来事に襲われました。その後の悲しい出来事は、私たちの生き方、価値観、幸福とは何かなど真剣に問われました。それは、これから未永く考えなければなりません。「愛実の会」という名称は大好きです。それは、聖書の中に（ホセア書）あるアンミ（わが民）だからです。ロ・アンミ（わが民でない者）、ロ・ルハマ（憐れまれぬ者）ではないからです。皆様のご支援をこころから感謝いたします。（長村 記）

「寄付金個人・教会」

臼田治子 大串まつ 島田星子 竹村倫子 塩田はるな 荻原寿美（複数回）
戸田伊助 亀田隆子 渡部實・幸子 上伊那聖書集会 全国キリスト教教育主事の会

「賛助会費個人」

吉谷尚之（複数回）

「土地建物基金個人」

臼田治子 岩田太万亀

ご協力ありがとうございました。
引き続きのご支援よろしくお願い致します。

在日米国商工会議所、名古屋国際学園共催の『チャリティーウォーカーソン』より、今年も200,000円のご寄付を頂きました。当初、用途を新年会費用として申請しておりましたが、先の東日本大震災を受け、当法人でも災害への対策を強化していく運びとなり、防災備蓄品等の購入に充てさせていただきました。ありがとうございました。

寄付金・賛助会費納入のお願い

愛実の会の活動に長い間ご協力頂き、感謝申し上げます。
愛実の会は、これまで行政から補助がない分野についても、皆様からのご寄付や賛助金によって幅広い活動や手厚い介助を行なうことが出来ました。
今後も引き続きご協力下さいます様お願いいたします。

主な目的は以下の通りです。

- ① 移転に伴う借入金返済 年 650 万円 (7 年)
- ② マンツーマン体制の維持のために正職員を 2 名増員しました。
- ③ 紙風船の人形劇活動の充実のために＝紙風船夢づくり

今年度は 500 万円を目標に募集しています。現在は 275 万円のご協力を頂きました。



「小窓から」 13

大野義徳

私たちの普段の生活でも、寒い時や暑い時に外出するのは億劫だ。先延ばしできる用事ならば、外出を別の日にするかもしれない。その気になればいつでも出かけられるからだ。

さて、愛実のメンバーたちは、ほぼ皆さん外出が大好きだ。買い物や遊びなど楽しい目的ならもちろんのこと、単なる散歩でもそうだ。認知症などで自室から出たがらないご老人の話など聞く中、メンバーのその意欲は、うれしいものだ。でも私が愛実に勤めるまでは、閉じこもりがちな障がい者って多いのかな、と勝手に考えていた。外へ出ると、時には無遠慮に見ていく人もいる。そういうのは嫌だろう、と思っていた。

しかしメンバーの思いは、それを些細なことにしてしまうほど強いようだ。重い障がいを持つメンバーにとって、外出はいつでも好きな時にできるものではない。ヘルパーの手配が必要だし、自身の体調も崩しやすい。メンバーにとって外出の条件が整っている時は、まさに貴重な時なのだ。安易に「次」は期待できないかもしれない。時間の重みが健常者とは違う、とも言えるだろう。

また、メンバーが外へ出て行くことで、広く社会にメンバーの存在を示す役割もあろう。「街は、あなた方健常者だけのものじゃないんだ、重い障がいのある私たちのものでもあるんだよ」、と言わんばかりに。これが皆にとって住みよい社会環境を作っていくきっかけの一つになると信じている。

イエローレシートキャンペーン実施中

愛実の会では毎月11日「イオン・デー」に開催される『イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン』に参加しています。現在ジャスコ名古屋みなと店様、マックスバリュート千種若宮大通店様、イオン大高店様にボックスを設置させていただいています。当日はメンバーと店頭にて呼びかけを行っています。ぜひ、ご来店の際はご協力よろしくお願ひします。



ボックスが置いてありますのでレシートを入れてください☆

また今回マックスバリュート千種若宮大通店様より文具や日用品をいただき活動の中で使わせていただいています。ありがとうございました。

愛実の会は多くの祈りとご協力によって支えられてまいりました。長い間応援して下さいさり亡くなられた方々

横井 忠弘様(埼玉) 渡部 實様(岩手)

生前のご援助に心から感謝申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。ありがとうございました。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
- 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24
 TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889
 E-mail info@aminokai.com
 ホームページ http://www.aminokai.com

「NPO愛実の会」ご支援のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

- ◆ 賛助会費・寄付金 NPO愛実の会の活動に対しての費用
- ◆ 土地建物取得 将来のNPO土地建物取得費用
- ◆ 紙風船夢づくり 紙風船の人形製作費、公演活動に関する費用

1口1,000円 何口でも結構です。
 ご支援していただける項目を振込用紙に記載の上ご協力お願いいたします。

※ 年2回(夏号と冬号)に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。ご利用下さい。